

令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会 交流大会・社会教育委員研修会

<実施概要>

趣旨	令和6年度の統一テーマは、全ての市民一人一人が、自らの学びを通して自己を成長させ、他者への理解を深め、学び合うことで生きがいを高め、ともにまちと未来を創造することを目標としたものです。 社会教育委員研修会では、今年度スタートした「町田市教育プラン24-28」で定めた学校教育と連携した生涯学習施策の実現に向け、事例紹介を踏まえたパネルディスカッションをします。
テーマ	自ら学び、あなたと考え、ともに創るわたしたちのまちと未来
日時	令和6年12月14日（土）午後1時30分から4時05分まで
会場	町田市民フォーラム ホール
内容	■開会行事 開会 都市社連協副会長 笹井 宏益 （小金井市） 挨拶 都市社連協会長 吉田 和夫 （町田市） 祝辞 町田市教育委員会教育長 小池 慎一郎 氏 ■各ブロック研修会実施報告 第1ブロック幹事 羽村市 第2ブロック幹事 国立市 第3ブロック幹事 多摩市 第4ブロック幹事 清瀬市 第5ブロック幹事 府中市 質疑応答（質問はお一人様につき一問とさせていただきます） ■社会教育委員研修会 「生涯学習と学校教育の連携について」 内容：登壇者による事例紹介及びパネルディスカッション 質疑応答（質問はお一人様につき一問とさせていただきます） ■閉会行事 閉会 都市社連協副会長 生尾 光 （小平市）

<交流大会・各ブロック研修会実施報告>

【第1ブロック（羽村市） 報告者：石川 千寿 / 石田 哲也】

実施日時	令和6年11月16日（土）14時00分～16時00分		
場所	羽村市生涯学習センターゆとろぎ 2階講座室		
参加者数	60名	幹事市	羽村市
テーマ	こども・若者の居場所づくりがまちの未来をひろげる		
形式（方法）	事例発表、グループワーク		

【概要】

1 開会

- (1) 開会の言葉 東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第1ブロック幹事
羽村市社会教育委員の会議 議長 川津 紘順
- (2) 主催者挨拶 東京都市町村社会教育委員連絡協議会 会長
町田市生涯学習審議会 会長 吉田 和夫 氏
- (3) 開催市挨拶 羽村市教育委員会 教育長 儘田 文雄

2 事例発表

- (1) 子ども・若者の拠り所 地域の方々との交流を通して、
すべての人々があるのまの自分でいられる居場所づくり
報告者 リアルてらこや 代表 水嶋 恵子
- (2) 「やってみたい」を大切に こどもが主役の遊び体験
羽村の自然環境を活かし、遊びに没頭できる場づくり
報告者 はむらプレーパークの会 代表 永川 みつ子

3 グループワーク

6グループで実施

4 講評 東京都市町村社会教育委員連絡協議会 会長 吉田和夫 氏

5 閉会

- (1) 次年度第1ブロック幹事自治体挨拶
瑞穂町社会教育委員の会議 議長 牧野 壽義 氏
- (2) 閉会の言葉 羽村市社会教育委員の会議 副議長 江上 真一

【第2ブロック（国立市） 報告者：矢野 勝巳】

実施日時	令和6年11月9日（土）13時30分～16時00分		
場所	国立市役所3階 第1・2会議室		
参加者数	41名	幹事市	国立市
テーマ	すべての市民が学び続けられるまちを目指して		
形式（方法）	【第一部】事例報告【第二部】グループディスカッション		

【概要】

第一部 事例報告

① 多様な主体の協力による、共生に向けた学びの機会創出

報告者：国立市公民館職員 井口 啓太郎 様

一般社団法人眞山舎 代表 土屋 一登 様

一般社団法人眞山舎では、令和5年度より「学校卒業後における障害者の学びの推進事業（文部科学省）」を受託し、国立市公民館と連携して「リカバリーの学校@くにたち」に取り組んでいます。支援される存在としてみられることが多い「生きづらさ」を持つ当事者をはじめ、一般市民、大学生、支援者など多様な主体が、双方向の対話的な学びを通じて「キョウドウを生きる暮らし」を志向し、事業を通じて地域でのネットワークを広げる活動についてご紹介いただきました。

② 産官学民で共創する地域コミュニティ活性化とその変遷

報告者：NPO 法人くにたち富士見台人間環境キーステーション 理事長 内藤 哲文 様

一橋大学まちづくりサークルPro-K 辻川 菖太郎 様 横田 育夢 様

NPO 法人くにたち富士見台人間環境キーステーションは、2003 年から富士見台団地の空き店舗を利用し、一橋大学生によるカフェ運営や住民との交流の場づくりを行ってきました。商店街と学生が協働する関係づくりや、住民との対話の場を生み出す活動を継続することで得られた学びについて、学生および商店街の双方の立場からご紹介いただきました。

③ まち・ひと・わたしを結ぶ ～社会教育における人権学習の取り組みから～

報告者：国分寺市立並木公民館職員 加藤 友志 様

国分寺市立公民館では5館それぞれで主催事業を実施しています。そのうち光公民館では、市民が主体となって企画した人権学習講座づくりにおいて、講座終了後の「出口」をつくることで、参加者による学びの継続と深化、つながりづくり、地域活動への参加へと発展するように企画運営を行っています。参加者自身の身近にある人権問題を題材とし、参加者が自分事として捉えられるような学びの場づくりや、若い世代を含めて、世代を超えた学びを生み出す方法についてご紹介いただきました。

第二部 グループディスカッション

① グループディスカッション

事例報告を踏まえ、下記のテーマでディスカッションを実施

- ・事例報告を聞いた感想・質問
- ・事例報告に触発されて、考えたこと、気付いたこと
- ・「すべての市民が学び続けられるまち」を実現するための今後の展望

② グループ意見発表

【第3ブロック（多摩市） 報告者：長島 剛】

実施日時	令和6年10月5日（土）14時00分～16時25分		
場所	多摩市立中央図書館 活動室		
参加者数	31名	幹事市	多摩市
テーマ	自ら学び、あなたと考え、ともに創るわたしたちのまち「多摩市」と未来		
形式（方法）	講演、中央図書館見学		
【概要】			
■開会			
開会挨拶	多摩市学びあい育ちあい推進審議会 会長 長島 剛		
主催者挨拶	東京都市町村社会教育委員連絡協議会 会長 吉田 和夫 氏		
開催市挨拶	多摩市教育委員会 教育長 千葉 正法		
■第1部：講演			
タイトル	学びあい育ちあいの縁から生まれる人づくりと街づくり		
講師	大妻女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 炭谷 晃男 氏		
■第2部：多摩市立中央図書館 施設見学（説明・見学）			
施設説明	図書館長 渡邊 哲也		
施設見学			
■閉会			
次期開催市挨拶	町田市生涯学習審議会 会長 吉田 和夫 氏		
閉会挨拶	多摩市学びあい育ちあい推進審議会 副会長 田中 優		

【第4ブロック（清瀬市） 報告者：倉持 伸江】

実施日時	令和6年10月4日（金）13時30分～16時00分		
場所	清瀬市市民協働プラザ内 生涯学習センター 7階 アミューホール		
参加者数	29名	幹事市	清瀬市
テーマ	子どもと社会をつなげる地域づくり～多様な世代の参加で始まる担い手育成～		
形式（方法）	講演会（事例発表3件）及びグループディスカッション		

【概要】

多くの地域や団体が、様々な視点から子どもと社会をつなぐ活動を行っている。各団体で担い手不足が指摘される中、地域の中でどのように担い手を育成していくのか課題がある。第4ブロックでは、「子どもと社会をつなげる地域づくり～多様な世代の参加で始まる担い手育成～」をテーマとして、幹事市である清瀬市の事例発表を踏まえ、グループディスカッションを通して、各市での取り組みについて情報交換等を行った。

前半の事例発表においては、清瀬市の各分野で積極的に活動されている3名の方に登壇いただいた。

まず、清瀬市学校支援本部統括コーディネーターの齊藤しのぶ氏に「誰もが学校の作り手として生きる」と題し、学校支援本部が全校に設置され、続いて順番にコミュニティスクール化を進めているにあたって、地域とどのように関わっているのかを発表いただいた。また、その活動状況やどのような方々が担い手として関わっているのかなどを、ダンボールで作った模型やエプロンシアターを用いて発表いただき、視覚的にも訴える内容で良いアイスブレイクになったと思われる。

続いて2番目に、特定非営利活動法人ウイズアイの黒田一美氏に「居場所づくりは地域づくり」と題し、子どもと社会をつなげる地域づくりや居場所づくりの取り組みについて発表いただいた。利用者だった保護者が後に支援者になったり、子ども自身がボランティアとして活動したり、自分たちの居場所を作っていく、といった事例紹介から、事業継続のために担い手を循環させていくという重要な視点についても示唆いただいた。

最後の事例発表として、社会福祉法人清瀬市社会福祉協議会の浅見真帆子氏より、「高齢者福祉分野の『コーディネーター』が取り組む地域づくり～子ども支援との共通のゴールを探る～」と題して、シニア世代が子どもたちを支える担い手として活躍できる、また若い世代や子どもたちが高齢者等を地域で支えるお手伝いを担ってくれるような地域づくりを目指し、高齢者と子どもをつなげる取り組みについて発表いただいた。このような取り組みの中で、生活支援コーディネーターと学校支援コーディネーターがつながることで活動の幅も広がり、新たな取り組みへとつながっていることも紹介いただいた。

また、この研修の実施にあたり、幹事市で内容を検討する中で、子どもの話も聞きたいという意見があった。そこで、清瀬市のジュニアリーダーズクラブに所属する子どもたちに、「自分が住んでいる清瀬の好きなところ・いいところ」「自分なら学校をこう変えたい」「地域の大人たちとどう関わっているか」「大人になった時にどんな清瀬市になってもらいたいかな」というようなことを話し合ってもらい、その内容を司会より紹介するとともに、子どもたちがまとめたポスターを会場内に掲示し、参加者に見てもらえるようにした。

後半はこれらの事例発表等を踏まえ、「多世代が参加する担い手育成には何が大事か、必要か」についてのグループディスカッションを行った。各グループに配置した清瀬市の社会教育委員がファシリテーターを務め、また登壇者もグループに加わり、それぞれで活発な意見交換を行い、最後にその内容についてグループごとに発表いただき、共有化を図った。

参加者からは、「グループディスカッションで多くの考えを聞けて良かった」「日頃感じていたことを共有できた」「共感できることが多く今後の活動に活かしたいと思った」、「地域で核となり活動している人の事例を聞き多くの学びがあった」といった感想が多く寄せられた。

幹事市としては、限られた時間の中、多くの要素を盛り込んでしまったが、学校教育、地域団体、高齢者福祉といったそれぞれの分野で行っている「担い手育成」の取り組みについて知見を深めることができたと思う。また、取り組みを継続・発展させていくために支援の輪を循環させていく、あるいは分野を飛び越えて横断的に活動の幅を広げていくことの重要性を共有することができ、大変学びの多い研修会になったのではないかと考えている。

【第5ブロック（府中市） 報告者：長畑 誠】

実施日時	令和6年11月16日（土）13時30分～16時00分		
場所	ルミエール府中市民会館コンベンションホール飛鳥AB		
参加者数	44名	幹事市	府中市
テーマ	地域の課題解決における「学び」の意味を考える		
形式（方法）	事例報告（インタビュートーク）とグループワーク		
【概要】			
1 開会			
開会の言葉 府中市社会教育委員・府中市生涯学習審議会 会長 長畑 誠			
開催市挨拶 府中市教育委員会 教育長 酒井 泰			
主催者挨拶 東京都市町村社会教育委員連絡協議会 副会長 笹井 宏益 氏			
2 事例報告（インタビュートーク）			
テーマ：地域で活躍するリーダーから「活動」と「学び」の関係を聞く			
・特定非営利活動法人 ママチャールーズ 理事長 成川 綾 氏			
・i-ze（いーぜ） 代表 山根 浩子 氏			
・聞き手：府中市生涯学習審議会会長 長畑 誠（明治大学ガバナンス研究科教授）			
3 グループワーク			
テーマ：「学び」は地域社会の課題解決にどうつながるのか？			
4 閉会			
次回幹事市挨拶 調布市社会教育委員の会議 議長 篠崎 光正 氏			
閉会の挨拶 府中市社会教育委員・府中市生涯学習審議会 副会長 佐野 洋			

＜社会教育委員研修会＞

「生涯学習と学校教育の連携について」
○登壇者紹介
【テーマ説明】町田市生涯学習審議会 会長 吉田 和夫
【司会進行】国士舘大学体育学部こどもスポーツ教育学科 教授 喜名 朝博
【パネリスト】玉川大学客員教授・前町田市立金井中学校長 仙北屋 正樹
町田市地域活動サポートオフィス※1事務局長 喜田 亮子
学校支援ボランティアコーディネーター※2 井上 由美
○事例発表
・町田市立金井中学校の事例 / 町田市地域活動サポートオフィスの事例
○パネリストによるパネルディスカッション
○質疑応答（質問はお一人様につき一問とさせていただきます）
※1 一般社団法人町田市地域活動サポートオフィス 地域における課題解決の取組みの充実、拡大を目指し、町田市を拠点にまちの困りごとに取り組む組織や人のサポートや多様な主体の協働のコーディネートを行っている団体。
※2 学校支援ボランティアコーディネーター 学校と地域ボランティアとのかけ橋として、学校のニーズに応じて必要な学校支援ボランティア人材の手配、調整、市内連携団体をはじめとした外部団体との連絡調整などを行う。